

中央区グリーンインフラガイドライン前回委員会からの修正点について

令和3年度第1回 中央区緑化推進委員会の主な意見内容、及び対応について以下に示す。

	No.	指摘事項	修正内容	該当頁
木下 委員	1	ガイドライン冒頭の1章で、P1-2で国交省、国土技術政策総合研究所などにおけるグリーンインフラの定義、P1-3では中央区としてのグリーンインフラの考え方がそれぞれ示されており、定義が複数あってちょっと混乱する。このような考え方が一般にあるとしつつ、区の定義はこうですよというのを強調、明示できると良い。	ガイドライン本編1章において、国による定義と本ガイドラインにおける定義を再整理しています。	P1-2
	2	個人宅・店舗におけるグリーンインフラ導入イメージについて、こういった小規模な地先スペースでも設置できる雨水プランターという技術がある。国内外で事例があり、絵や技術編に入れられると良い。	4章 P4-4 においてイラストに雨樋からプランタに繋がるイメージを追記したほか、キャプション事項として「雨水プランター」に関する記載を追加しました。 また技術編「レインガーデンなどの設置」(技-28~)において、雨水プランタの記載を追加しました。	P4-4 イラスト (技術編) P.技-28

	No.	指摘事項	修正内容	該当頁
木下 委員	3	P4-20 で国の支援施策（グリーンインフラ活用型都市構築支援事業）が取り上げられている。こういったものを活用して整備したグリーンインフラをきちんと維持管理し、作った後の効果が発揮されているかを評価していくことが重要になる。国でも評価の手法は現在検討中である。表彰制度などにもつながるが新設だけではなく長期的な維持管理を評価する視点を持つなど、維持管理を重視する枠組みが必要になると考えている。	今回のガイドラインでは技術編において「創出」「維持管理」「利活用」の3つの分類を設け、創出した緑地が良好な状態を保ち多面的な機能を発揮するための維持管理を行うこと、またこれらの緑地を積極的に活用していくことを意識しております。 加えて、新たに見直す表彰制度においても民間での緑地創出を対象とすると同時に、良好な維持管理・利活用手法についても積極的に評価の対象としていくことを目指します。	P4-42 表 4.2 及び本文
鈴木 委員 長	4	表彰制度においては、グリーンインフラの考え方をよく整理してきちんと評価できる仕組みを作っていく必要がある。	評価に当たっては、グリーンインフラ官民連携プラットフォームを中心として今後も情報収集を積極的に行い、区民や民間事業者とも連携して多様な評価手法の採用を検討してまいります。	
田中 委員	5	一般の方へグリーンインフラの浸透を図る上で、エディブルランドスケープを重視する観点が非常に重要になると考えている。水やりなどの作業にしても、「食」が関わってくると、皆さんの目の輝きや真剣度が違ってくる。	個人・中小規模事業者が行う取組のイラストで菜園利用がわかりやすいよう一部イラストを変更したほか、プランターでの野菜栽培等にも使用可能な緑化助成制度の浸透を引き続き図ってまいります。	P4-4 P4-6
鈴木 委員 長	6	導入イメージとして示されている絵は非常に良いと思うが、できれば緑だけではなく、花や実、菜園では野菜があるイメージや色を強調すると良い。	導入イメージのイラストを見直し、花や果実をイメージできる色彩を追加しています。	4章導入イメージイラスト

	No.	指摘事項	修正内容	該当頁
加藤 委員	7	緑の基本計画では地域別の方針が巻末で示されている。また、緊急輸送道路には耐火性のある樹種を植栽するなど地域ごとに機能面に着目して実施されてきた施策が示されている。グリーンインフラガイドラインにおいても、たとえば推奨される街路緑化のタイプであるとか、エリアごとに導入すべきグリーンインフラの方向性を示してもらえると非常に良いと思う。	3章に新たに「地域ごとのグリーンインフラ導入の方向性」の項目を設け、京橋・日本橋・月島の3地域におけるグリーンインフラ導入の大きな方向性を基本指針ごとに示しました。また、前回計画でも示した緊急輸送道路に対する緑化の機能的な効果は今後も継続して意識していく必要があると考え、区内の緊急輸送道路を地図に記載しました。	P3-8～
	8	グリーンインフラチェックシートにおいて緑の基本計画の施策との関連などもわかると良いのではないかと。	3章（P3-2）において「緑の基本計画の取組方針等と関連の深いグリーンインフラ基本指針の関連性を表形式で示す内容を追加しました。	P3-2
木下 委員	9	各々の敷地で完結する取組については示されているが、加藤委員のご指摘のように、線的、面的にグリーンインフラを広げていくために何らかの方向性を示す必要があると思う。	3章に「地域ごとのグリーンインフラ導入の方向性」の項目を設けました。	P3-8～
岸本 委員	10	ガイドライン2章のP2-21には、緑被率と人口分布について記載があるが、人口当たりの緑の面積を載せるなどにより月島エリアでは休日になると公園が非常に混雑しているなどの地域の課題が示せると良い。	P2-4（人口分布）において、定住人口一人当たりの緑被面積を掲載しました。また使用する人口データを最新（R3.1.1時点）に修正しました。	P2-4
	11	緑の重要性を示すのに、たとえば樹木一本当たりの機能、CO2の吸収量であるとか、そういったわかりやすい方法で示せると良い。	都市の緑の樹木が吸収するCO2量の一般的な考え方をコラムとして掲載しました。	P2-9

	No.	指摘事項	修正内容	該当頁
鈴木 委員 長	12	チェックシートは今後使っていく中で、より使い勝手が良くなるようにどんどん改良していく必要がある。そのためにバージョン情報が必要で、今のガイドラインに載せるものが最初になる。今後の評価にもこのシートを使っていくので準備はしっかりやっていく必要がある。	チェックシートにはバージョン情報（今回のバージョンはVer.1.1（R4.3））とし、今後の更新を想定した形式としました。	P4-9 ほか 各主体の チェック シート